



令和元年12月1日
平塚市
青少年指導員
連絡協議会



地区活動特集

つながり！元気！感動！ 笑顔がつくる明日の平塚

豊田地区活動報告

豊田地区青少年指導員

豊田地区青少年指導員の地区内夏休み参加行事について、報告させていただきます。

7月19日(金)には「夏休みわくわく映画大会」が公民館中庭にて、19時過ぎより上映されました。交通安全の映画を含め、3本の上映を何とか雨に降られず、無事に終了！



22日(月)は「ライフレラシー」教

室」？、あまり聞き慣れない言葉ですが、一種のボードゲームで働くとどういうことだろうか？税金って何だろう？楽しく遊びながら社会の仕組みを学んでいくゲームです。あまり知られていないので参加者は19名と少数でした。来年はもっと沢山参加者が出てほしいです。

31日(水)はだるま創り(絵付け)教室開催。世界に一つだけの自分のだるまを作り、絵を書いたり、好きな色に塗ったり、形を変えたりしました。荒井だるま屋4代目荒井星冠さんに平成・令和と続けて2年御指導いただきました。



8月19日(月)は秦野市キャンプ場で豊田小・真土小・松が丘小・八幡小・大野小の4年生から6年生の児童72名の参加者を8班に分けて大人が各

班1〜2名入り、火起こし体験や飯ごう炒飯(平塚産の米)・カレー作り・ゲーム等を行いました。同じ班に違う学校同士が一緒になりましたが、すぐに仲良くなり、あつという間に1日が終わってしまいました。

21日(水)は星の観察会でしたが、参加者23名、雲が多く、天体観測が無理となり、図書室において「万華鏡作り」に変更になりましたが、みんな夢中になり万華鏡を作りあげました。平塚市博物館学芸員の方には天体に関する質問に対して、いろいろお答えいただきました。ありがとうございました。

25日(日)は木工教室を公民館ホールにおいて、32名の参加のもとに「かなづち」「のこぎり」の使い方を学びながら、今回はいつもと違い自由に箱をつくり、飾り台にしたり、色々な端材を使い、物を作ったり、みんな思い思いの物を作り上げて、満足していました。

毎年恒例になって小学校体育館で行われる盆踊り大会は、本年度は体育館の床張り、補修のため行われませんでした。来年の夏は今年分まで、盛大に盛り上げていきましょう。長い夏休み期間、いろいろな行事に参加して楽しく過ごせました。



吉沢地区活動報告

吉沢地区青少年指導員

吉沢地区青少年指導員は、吉沢小学校区内の上吉沢・中吉沢・下吉沢・めぐみが丘の4自治区から構成され、計7名(上吉沢・中吉沢・下吉沢各1名とめぐみが丘4名)で活動しています。令和元年度から地区代表も変わり、新しい特色を生かした活動ができるように心がけていますが、例年行われている主な活動について、いくつか紹介いたします。

子ども大会は青少年指導員活動の中でもメインの活動です。2年前からの試みですが、子ども大会を吉沢地区ふれあい夏まつりと同日の開催で、2部制にしています。今年度は8月10日(土)に実施しました。

第1部で陶芸体験を実施しました。市内にある陶芸工房から出張で陶芸体験を行っていただきました。開催前は、粘土が少なくて子どもたちが楽しめないのではと懸念していましたが、さすがですね、子どもたちは限られた粘土の量でも大人が思いつかないような形に仕上げ楽しんでいました。作品は工房の方が持ち帰り、窯で焼き上がりの後、10月末に子どもたちに完成品を手渡しいたしました。



第2部では夏まつりの会場(吉沢公民館)にチュロスを作るコーナーを設けました。よく知られている長いチュロスではなく、紙コップに入る程度の短いものですが、大盛況で、仕入れた分は直ぐに捌けてしまいました。

また、夏まつりには小中学生が多く参加する事から、毎年、夏まつりの後に巡回パトロールを実施しています。夏まつり会場近くのコンビニに集まる中学生に早く帰るよう指導した事以外、大きな問題はありませんでした。めぐみが丘ふれあい秋まつりは毎年11月に開催され、めぐみが丘自治会長の依頼の下、ある団体の手伝いとして青少年指導員数名を出していましたが、昨年度はその団体のスペースの一部を借り、今、原宿で流行りのレインボー綿菓子を振る舞いました。それが大好評だったので、今年度からは自治会長の好意で公式参加団体とし

て青少年指導員のスペースを確保していただきました。写真は昨年度のものです。



吉沢公民館まつりは毎年3月に開催され、こちらでも青少年指導員のブースを設けています。以前は当てくじをやっていました。が、心機一転、昨年度からは、より子どもが喜びそうなものを提供したいと考え、フランクフルトをその場で焼いて振舞い、子どもたちをはじめ、地域の方に好評でした。ただ、初めての試みで仕入れ数の見積もりに難儀しました。今年度もフランクフルトを振舞う予定ですが、仕入れ数に関しては、昨年の経験を生かしていこうと思います。



金目地区活動報告

金目地区青少年指導員

私たち金目地区青少年指導員の活動を紹介いたします。地区の多くの団体と協力し数々の行事に参加をさせていただいています。年度スタート直後の子ども大会に始まり公民館祭りに至るまで多くの行事に参加をする上で、平塚青指のスローガン「つながり！元氣！感動！笑顔がつくる明日の平塚」を強く意識して多くの行事に参加し、子どもたちとのふれあいを楽しみ、活動することを目標にしています。

青指のメインイベントである「子ども大会」はウォークラリーです。この子ども大会は新年度早々の5月に小学校・PTA・子ども会・体振・交通安全指導員・交通安全母の会・金目エコ・ミュージアム等の団体に多大な協力をいただき開催します。

エコ・ミュージアム「金目まるごと博物館」に登録されている遺跡や景観地を散策して巡り、チェックポイントに設けられたクイズを解きながら、コマ地図を頼りに約1時間から1時間半かけてゴールを目指します。子どもも大人も金目を再発見している様です。

私たち青指は子ども大会を通し、子どもたちの親睦と交通安全や地域の

方々との交流等、子どもたちにより多くの経験をしてもらいたいと願い込め毎年開催しています。



夏休みに入ると直ぐに中学生を対象にしたナイトウォークの開催をお手伝いします。このナイトウォークは中学校に集合し小田原へ移動。23時に小田原駅を出発して、翌朝の金目中学校到着を目指して夜通し歩きます。体力の限界に挑戦、また仲間との交流や完歩の達成感等の多くの経験を積み、日常生活への自信へ繋がってこれたらと願っています。

お盆の時期には灯籠流しに参加をさせていただきます。各種団体と中学生が催すイベントで、夏休み前に中学生は灯籠流しについて学習しているようです。灯籠流しに参加する地域の方々に中学生の作成した思い思いの

灯籠を小川に流し、その灯籠を会場に並べ「平和」の文字を作ります。厳かでもとても幻想的な誰もが感動する時間がそこにあります。



11月には金目小フェスティバルが開催されます。小学校PTAより依頼され、チョコバナナの販売で参加させていきたいと思います。多くの子どもたちがチョコバナナを楽しみにしている様で、手にした時の笑顔が何より私達の励みになります。また、その笑顔が地域の方々と和ませてくれたことが印象的です。

金目地区恒例の新年行事である「子ども新年会」が1月の下旬に開催されます。この新年会は金目小・みずほ小の児童が対象で「平塚カルタ」を使用しカルタ取り大会で優勝を目指しま

す。時には子ども会のお母さんも参加し大盛り上がり。カルタで盛り上がった後は、地域の方からの差し入れて作られた豚汁とおにぎりを頬張り、子ども新年会を終えます。

年間を通し最後の行事は、公民館まつりです。公民館まつりにはチョコバナナとチョコイチゴ、ミニたい焼きの販売で参加しています。イチゴは割高ですが、金目産のイチゴを使用し地元イチゴを堪能してもらいます。

様々な行事の中でナイトウォークと灯籠流し、子ども新年会ではみずほ青指と共に参加させていただきました。小学生から中学生へと成長を感じたり、小田原から金目まで歩く体力にビックリしたり、改めて子どもたちの成長の早さに驚いています。

行事へ参加して思うのは、声掛けや促し、見守り等の難しさを感じるなか、地域の方々とふれあいや人の温かさを感じることでした。そして、人思いやる気持ちが大きくなると、地域力になり、青少年の健全育成につながると実感しています。



勝原地区活動報告

勝原地区青少年指導員

2019年勝原地区青少年指導連絡協議会の活動報告をさせていただきます。勝原地区青少年指導連絡協議会は、高村西、万田、万田貝塚、出縄、の4自治会選出の12名で青少年指導員会が構成されています。

今年も、1月の元旦マラソンのお手伝い、2月の北公民館祭り、4月から子ども大会準備、6月開催、勝原小学校夏祭り、7月～8月の愛のパトロールと10月のふれあい山城（焼き鳥販売）と多種多様な活動を積極的に実施してきました。

今回は、子ども大会をメインに、愛のパトロールについても活動報告をさせていただきます。

まず、青指最大のイベント子ども大会は、4月から準備に入り、青指のみで打合わせを行いました。ちなみに今まで参加していただいた小学生の人気の催しはと申しますとお店屋さんごっこ、湘南平ハイキング&宝さがし、オリンピックを模した勝原オリンピック、段ボール迷路（ラビリンス）、お泊り会&災害訓練及び肝試し等でした。毎回今年は何を行おうかと青指内でいろいろと模索していましたが、大人が脂汗を浮かべながら、頭を突き合わせても具体案が浮かばない

状況でしたので、今年も勝原小学校から小学生ボランティアを募り、5名の方に自発的に企画から参加していただきました。女子、男子の構成は半々で、いろいろとアイデアをいただきまして、その中で生徒さんに絞り込んでいただいた結果、スノードーム（キラキラドームとネーミング）と割りばし鉄砲づくり大会に決定いたしました！

我々が意外に思ったのは、女子がスノードームかなと思いきや、男子も興味津々でした。（固定観念反省！）



早速、スノードームの施策に入りましたが、まず見本という事で、100円ショップ、ディスカウントショップにも見本品がなく、理由を聞くとやはり冬がシーズンという事で在庫がない状況との事、メインになる瓶もなく、皆でネット検索を鬼のように行い情報を入手しまして、材料を集めました。ビンの選択、中に入れるもの（水・糊・キラキラ紙、メインの玩具等）の選定

と試作と、6月22日（土）開催まで、月に2〜3回集まり、試行錯誤しながら、何とか子供大会開催に間に合わせようと、小学生ボランティアと一丸になり頑張りました。幸いなことに、割りばし鉄砲は青指OBのお力も借り、比較的容易に準備が整いました。

当日22日（土）は、天気も良く熱中症の予防も行いながら、勝原小学校体育館及びランチルームを借用し、大会開催の運びとなりました。

中学生ボランティア、PTAの方々のお力添えもいただき、小学生をグループ毎に2種類の作成してもらい、キラキラドームは個性あふれる作品ができ、作成中の子供の顔も本当にキラキラ！しておりました。

割りばし鉄砲も、作成後は射的コーナーを作成し、実射しては修正する子や、保護者の方の応援で、体育館が熱気に包まれておりました。



愛のパトロールについては、7月26日（金）〜8月25日（日）まで延べ6回、勝原・山下青指、山城中学、山

下小学校、勝原小学校の先生方、PTAの方々のべ104名の方に参加いただき実施いたしました。コースとしては、山下地区、勝原地区に分かれて、約1時間自転車パトロールしました。

今年も、結構熱帯夜が続き、薄手の蛍光ビブスを着用するのも煩わしくなるほどの気候でした。

結果考察としては、数年前と比べ喫煙・無灯火自転車、コンビニでたむろっているグループ等も少なく、声掛け実績も減少方向にあります。

小中学校の教員の方とも話しまして、来年はパトロール事態の形態（コース・時間・人数）も、見直しを図る必要性を感じました。

活動総括としては、青少年指導員は、小中学校・自治会・PTAとともに活動にあたり、地域の連帯意識、子供ファーストな、明るく住みよいまちづくりに貢献し、青少年の健全育成や地域の活性化に尽力していきたいと思えます。

広報委員のつぎまき

10月末に、子ども大会を終えました。毎年子ども大会で感じることをチョット。

昨今子どもたちが、日常の中で関わる主な大人って、「親」か「学校の

先生」ぐらいなものですよね。課外で習い事などをしなければ、限られた大人との関わりだけで小学校生活を過ごしてしまふことになるでしょう。

子どもが人格形成をしていく上で、いろいろな大人と関わることは大切なことだと思います。そう考えると、「子ども大会」は、子どもたちにとって「親」や「学校の先生」以外の大人と関わる「機会」の提供になっていると思います。

「子ども大会」に参加する、しないは子どもの自由意思ですが、「子ども大会」という「場」を設定することはとても大切なことだと思います。

金田地区 青木 一規

【広報委員会】

委員長	なでしこ地区	田邊 貴也
委員	花水地区	安永 典史
〃	旭地区	田代 信子
〃	豊田地区	伊東 多恵子
〃	神田地区	土屋 裕之
〃	金田地区	青木 一規
〃	真土地区	石井 康仁
〃	松が丘地区	柳瀬 克則
〃	松延地区	伊川 眞理
事務局	青少年課	三春 雄太
〃	〃	嶋崎 和栄